

# NVC Monthly

## 同好会ニュース

### 寝屋川映像同好会会報

第21号(20110204)

発行 竹田 幸男



### 2月例会

映像同好会2月例会は1週間早く2月4日に開催、今回は寝屋川支部の高橋さんが久しぶりに会場を訪れ、静止画を用いた映像作品を持参され、また交野支部の山本さんも参加されました。(例会の窓参照)

### 映像協会上辻副会長の訃報

撮影会の企画などで交流の多かった寝屋川市映像協会の副会長、上辻祥介様が突然の病気で1月31日に逝去され、関係者が通夜と葬儀に出席しました。3月の平野郷撮影会の準備のため当会の小笠原会員と現地を下見したり何度も打ち合わせをして頂いた元気な姿が目につかびます。謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 例会の窓

#### 平成23年2月例会

- ・日時：平成23年2月4日(金)  
13:30～16:30
- ・場所：寝屋川市民活動センター 4階 こども室
- ・出席：天野 新井 石田 小笠原 梶本 竹下 竹嶋 竹田 田淵(9名)
- ・欠席：谷 田口(2名) / (50音順敬称略)
- ・ご来客：山本さん(交野支部)、高橋さん(寝屋川支部)(2名)

## 例会次第

### 1. 各会員の最近の活動状況・情報交換

寝屋川映像協会副会長の上辻様が1月31日、ご逝去されました。(73歳)  
3月に予定の平野郷撮影会の準備下見等、私たちとの共同活動に力を入れて  
頂いていた最中の訃報になりました。心からお悔やみ申し上げます。  
当例会に寝屋川支部の高橋さん、交野支部の山本さんのお二人が、ご来客と  
して出席され、雰囲気や活動の内容をご見学頂きました。  
同好会へのご入会をぜひご検討ください。歓迎します。

### 2. 報告・連絡・協議事項

寝屋川市映像協会との関係について具体的事項の審議

竹田さんから1月30日開催の打ち合わせ会の模様を含め資料を配布の上、  
具体的事項を協議しました。詳細は別途議事録を作成することとし、大筋下  
記の点を決定した。

- ・新しい寝屋川市映像協会の第1回総会を4月24日に設定する。
- ・同好会の会計年度を新映像協会に合わせて4月スタート、3月締めに変更する。
- ・これに伴ない、次回3月度の例会は期末総会も兼ねて開催する。

平野郷撮影会の件

- ・出席者：3月 9日(水) = 天野 新井 石田 小笠原 竹下 竹嶋 竹田 谷  
：予備11日(金) = 新井 石田 小笠原 竹田 谷 田淵
- ・実施可否判断は、7日(月)のお昼までに決める。(小笠原さん)
- ・朝集合は、京阪寝屋川市駅ホーム5号車あたり、8：10分発準急に乗車  
別行動の人は、直接JR平野駅へ 9：00集合  
(小笠原さんが直接、石田さんはオートバイの予定)
- ・昼食メニュー：おつくり膳(1,880円+10%)に決定(全員)

NVC Monthly 2月の記事筆者

- ・石田さんが担当。

三団体交流会の予定

- ・2月19日(土) 午後、守口市内にて開催  
グループ作品「天の川七夕まつり」を紹介する。  
集 合：京阪守口市駅西口に13：40分

開 会：14：00～ 出席：小笠原 竹嶋 竹田(3名)

二次会：17：00～ 出席：小笠原 竹田(2名)

### 3．映写・合評

「山田池公園撮影会」：7分 高橋さん(静止画編集作品)

出た意見：色彩が綺麗。アジサイの花の裏側からの撮影が面白い。ビデオならもっと綺麗なのでは。花の名前の立て札がもっとわかると良い。ズームアップ時に人物が動かないので少し違和感を覚えた。BGMとトランジションのタイミングが合えばいい。ゆっくり変わるとか、パッと変わるとか。

「錦秋慕情」：5分 小笠原さん

出た意見：静止画的な動画作品である。写真の構図で綺麗な画像が魅力的。

ナレーションが一部分だけだったが全編入れて欲しい。遠景のみでなくアップも欲しい。テロップの字体を統一して欲しいし、このような作品に勘亭流は合わない。

終わりの文字は少しどぎつい。最後の画面のなかに終わりの文字がそっと浮き出るようにした方が良い。

途中の詩の冒頭に「作者不詳」の断り書きは早すぎる。後でいいのでは。

「天の川七夕まつり」：同好会グループ作品 竹田さん監修

三団体交流会にて紹介する作品の映写確認を行った。

### 4．会員の当面する問題点質疑応答

Windows Live ムービーメーカーの解説書紹介が竹田さんからあり、改めて講習会を別途行うことになった。

デジタルテレビにはハイビジョンとフルハイビジョンがあるが、ビデオカメラにもそういうことがあるのかな。

A：一般的には1920×1080ドットのをフルハイビジョン、1440×1080、1280×720ドット等のものをハイビジョンと称している。

### 5．来月の開催日

・3月4日(金) 13：30～ 於：市民活動センター 4階 こども室

・カメラ当番：竹下さん(予備当番：竹嶋)



## 私は神様になった

石田 昇

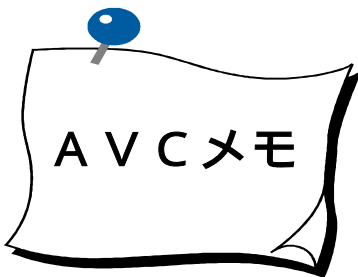
今から約50年前の事、姫路のKラジオさん(電気店)と親しくなった頃の事です。

昭和35年、私はサービスマンで神戸にいました。播州地区を担当し、各ステーションを巡回してラジオ・ステレオ・プレーヤー等を専門に修理していました。暫らくして姫路出張所が発足、駐在となりました。その頃よく修理ベンチに来所されたのがKラジオさんでした。「俺は何でも直す」と自負、修理の得意なラジオ屋さんでした。

ある日スチームアイロンを持参され、スチームの噴き出し口のネジが錆びてどうしても回らない、外れない、困ったと言うのである。これは何とかして直したい、修理マン魂がムラムラと沸いてきたのは当然。その日遅くまでアイロンと格闘、遂にネジは解けた。「ヤッター！」翌朝一番にKラジオさんに電話を。「社長ネジ解けましたよ！」

直ぐにK社長が飛んできた。アイロンを見るなり「ホーお見事！」その次の一言「あんたは播州の修理の神様や。弟子にしてくれ！」この一言今でも脳裏にへばり付き消えない。時々思い出すアナログ時代の神様になった話でした。

今でも気になります。「K社長元気かな？」



## プロキシファイルというもの

竹田 幸男

HDV、AVCHDなどのハイビジョン記録方式のビデオカメラが商品化された当初、最大の課題は、当時の一般的なパソコンでは、このようなハイビジョンの大量のデータをリアルタイム(時間遅れなし)に処理ができないということでした。これらのハイビジョンデータは、ハイビジョンであるためにDVの数倍の画素を計算しなければならず、また多くなったデータ量を、HDVではMPEG2、AVCHDではより複雑な計算をしなければならないMPEG4という圧縮方法で圧縮し、テープやメモリーの使用量を減らす必要がありました。そのように圧縮したデータを再生の時に解凍する処理を行うためにパソコンの計算力を要求します。力の弱い(処理速度の遅い)パソコンでこれを処理するためにいろいろな方法が工夫されました。その方法の一つが、このプロキシファイルというものです。

編集作業の時、映像データを再生して内容を確認し、また編集した結果が意図通りに出来上がったか再生して確認する必要がありますが、力の弱いパソコンでは映像の動きがカクカクしたり止まってしまいます。プロキシ ( proxy ) とは「代理」とか「委任状」という意味で、元の映像データから画素の荒いプロキシファイルを作ってやり、パソコンの小さい編集画面では、このプロキシファイルを再生して編集内容を確認します。画素を間引いた荒い画面ですから、あまり強力でないパソコンでもスムーズに再生できます。しかしこの画面を大きなモニターで見ようとするると荒い、汚い画面になってしまいます。あくまでもこのような目的で作られたものだと割り切って見て頂かなければなりません。

そして編集結果をきれいなハイビジョン映像で確認するためには、このプロキシファイルとともに作られたプロジェクトファイルの指令に基づいて元の映像データを時間をかけてレンダリングして完成し、完成したものをブルーレイディスクやメモリーに入れ、これらをスムーズに再生できる機器 ( ブルーレイディスクレコーダ / プレイヤー など ) に入れて再生します。レンダリングとは ( 表現・描写・演出・翻訳 ) 等の意味があります。

プロジェクトファイルのプロジェクト ( project ) とは「計画」とか「企画」という意味で、どのようなものかということ、映像を編集して、途中で映像をカットしたら「・・・の映像の・・・の部分を実カットする」というような情報をプロジェクトファイルに記録します。ですから撮影した映像を本当にカットするのでなくカットすべき場所だけを記録しますから、元のデータには全く傷がつきません。またプロジェクトファイルは、このような指令の集まりですから、データ量もそれほど多くはありません。

注意しなければならないのは、元の映像データの場所を、コピーしたりして違う場所へ移動させたり、フォルダーの下へ移動させたり、映像データのファイル名やフォルダー名を変えたりすると、プロジェクトファイルの指令によってパソコンが映像データを探そうとしても見つからなくなります。またUSB接続の外付けハードディスクなどに映像データを入れているとき、複数のハードディスクを接続したりUSBメモリーを接続したりしてドライブ名が変わったときにも見つからなくなります。

ビデオスタジオという編集ソフトは、このプロキシファイルを使っているようです。映像データを読み込むと、しばらく時間をかけてプロキシファイルを作っているようです。またマイクロソフトが無料で提供しているウィンドウズ・ライブ・ムービーメーカーもプロキシファイルを作っているようで、映像データのありかを指定すると読み込みに少し時間がかかっていますが、そのときにプロキシファイルを作っているようです。これらの編集ソフトは、それほど

強力でないパソコンでも快適に編集ができるように思います。